



## World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.44

Edition April 25<sup>th</sup>, 2017

### モロッコ、パリ出張

#### モロッコ連盟の注力

4月14日(金)からモロッコで開催されたプレミアリーグ・ラバト大会に出張しました。2017年のプレミアリーグでは4大会目で、残念ながら日本人の参加はありませんでしたが、素晴らしい大会となり、モロッコ空手連盟の注力ぶりが極めて印象的でした。

大会会場に隣接して、モロッコ空手連盟が10年計画で建設した空手専用トレーニングセンターがありました(2ページ目に写真を掲載)。

連盟会員4万人の浄財とスポンサーの支援で建設された巨大な施設で、1万坪の敷地に形・組手それぞれの道場、トレーニングルーム、プール、宿泊施設、講義室、医務室、勉強室、食堂、来賓用レストラン、日本庭園を模した庭園が完備されています。モロッコナショナルチームはここで合宿をし、学生の選手には国語と数学の補修授業が週2回行なわれています。

一流の競技力と文武両道を目指すモロッコ連盟の方針に感心しました。モロッコは2016年の世界空手道選手権大会で銀メダル1個を獲得しており、今後、エジプトに次いでアフリカ大陸の強豪となる予感を感じさせます。

#### EB、準備委員会ミーティング

大会後はフランス・パリへ移動し、18日(火)～19日(水)にかけてWKF EBおよびオリンピック準備委員会の会議に出席しました。

EBとはエグゼクティブ・ビューローの略で、W



世界チャンピオンのラファエル・アガイエフ選手(右)を始め優秀な選手が多数出場していました。

KF会長、事務総長、財務担当重役、第一副会長で構成されています。

会議では2018年ユースオリンピック、2020年東京オリンピックにおける空手の選手選考過程の最終案を確認・検討しました。いずれもIOCの承認を得て成案となります。

#### 2024年種目化に向けて

前号で説明した2024年オリンピックでの空手採用については、本年9月に開催都市(パリとロサンゼルスが立候補中)が決定した後、開催都市からの追加種目として提案されるべく、準備をしています。

今後とも期待をもって、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

世界空手連盟 事務総長

奈藏稔ス

#### 世界空手連盟 事務総長事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル7階  
電話 03-3519-8520 FAX 03-3519-8521 wkf@wkf-gs.jp



# World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.44

Edition April 25<sup>th</sup>, 2017

## モロッコ ラバト



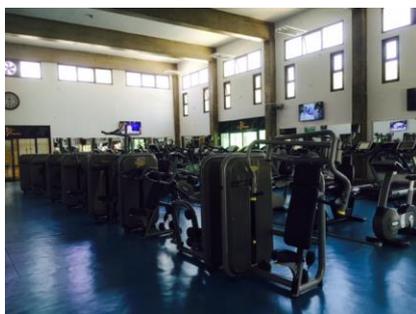
▲1万坪の広大な敷地に建設されたモロッコ空手連盟トレーニングセンター。



▲日本庭園を模した庭。



▲リフレッシュやクールダウンのためのプール。



▲マシンジムが2か所。



▲道場は、形と組手にそれぞれ用意されている。



▲プレミアリーグ・ラバト大会中、整列した来賓たち。



▲右列、手前から三人目がモロッコ空手連盟会長。国王の警備隊長を務めている。

## フランス パリ



▲WKF EBとオリンピック準備委員会。空手担当・村田スポーツマネージャーも出席。

## 世界空手連盟 事務総長事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル7階

電話 03-3519-8520 FAX 03-3519-8521 wkf@wkf-gs.jp